

# はじまりの線刻画

— アイルランド・スキャンジナビアから奄美群島へ —

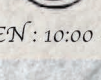
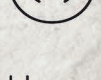
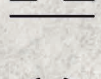
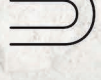
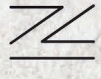
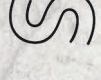
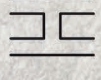
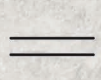
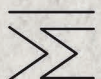
企画・主催：多摩美術大学 芸術人類学研究所  
Planning/Host: Institute for Art Anthropology, Tama Art University

共催：上智大学グリーンフケア研究所・身心変容技法研究会（代表：鎌田東二）  
協力：齊藤五十二、鹿児島県徳之島天城町教育委員会、Live Forever Foundation、株式会社ゼロユニット  
キュレーター：渡辺真也 後援：アイルランド大使館、カフェ・パッハ

Tama Art University Hachioji Campus Art-Theque Gallery 102-105

2018 6.16 sat — 6.30 sat

I R E L A N D



Celts



<http://www.tamabi.ac.jp/iaa/>



OPEN: 10:00 - 18:00 CLOSE: Sunday admission free

開館時間 10:00 — 18:00 休館日 日曜日 入場無料

Stone/Rock Carvings as Beginnings — From Ireland to Amami Islands — 人類は何を表現してきたのか？

What did human beings express?



## 展覧会概要

---

このたび、多摩美術大学・芸術人類学研究所は、本邦初となる展覧会「はじまりの線刻画ーアイルランド・スカンジナビから奄美群島へー」を、上智大学グリーンフケア研究所・身心変容技法研究会との共催で実現する運びとなりました。

本展では、1970年代から90年代に大野忠男氏(画家・美術史家、1932-2010)・齊藤五十二氏(書家、1953-)がアイルランドとスカンジナビアで採取した「ケルト十字架」と「岩絵」の拓本コレクションを中心に紹介いたします。また、芸術人類学研究所が近年共通テーマに掲げる「土地と力」やユーロ＝アジア文明の古層にある「死生観」を再発見するために、奄美群島の線刻画や現代美術にまで拡大し展示いたします。

拓本の元となった遺跡は、紀元前8000年頃から紀元12世紀頃におよぶものです。現地の石は経年変化によって風化していく危機的状況にあるため、約40年前に採取されたこれらの拓本は芸術的・人類学的にみても大変貴重な資料となっています。

この貴重なコレクションから、人類の芸術の根源にある「文様と文字」を学び、鑑賞者の皆さまの豊かな想像力に、あらたな光がうまれることを願っています。



ニューグレンジ古墳石室内の渦巻文様(アイルランド)



飯田昭二《Half and Half》  
1968/2008年



照屋勇賢《Current》  
2009年



松澤宥によるパフォーマンス  
(写真：長沼宏昌)



渡辺真也 映画『神の唄』第1章より  
2018年

# 見どころ

---

## 1. 「ケルト十字架」「岩絵」にみる文様とシンボルを一堂に展示

アイルランド・スカンジナビにおいて、1970年代から90年代に画家・大野忠男と書家・齊藤五十二により和紙と墨で採取された「ケルト十字架」「岩絵」の拓本コレクションから約70点を一堂に展示。

## 2. 先史芸術と現代美術がコラボレーション

国内外で活躍するキュレーター・渡辺真也のキュレーションによって、アイルランド・スカンジナビの先史芸術と日本現代美術がクロスする展覧会。

【展示作家】朝崎郁恵、飯田昭二、松澤宥、照屋勇賢、渡辺真也ほか

## 3. 徳之島の線刻画拓本を初公開

本展のために、新たに採取した奄美群島・徳之島の線刻画拓本を初公開。

## 4. トーク・コンサートイベント

トーク・ディスカッション、さらに奄美大島の唄者によるシマ唄コンサートも開催。展示会場に生のシマ唄が響くスペシャルな空間を創造。

# 関連イベント

---

### ●キュレータートーク+奄美シマ唄ミニコンサート

日時 | 6月16日(土) 15:00~16:00

会場 | 多摩美術大学 アートテーク・ギャラリー 105 参加費 | 無料・申込不要

出演 | 渡辺真也(本展キュレーター、映画監督)、成瀬茉倫(映画『神の唄』アマミコ役)

### ●トーク「ユーロ=アジア文明の古層にある土地の力」

日時 | 6月22日(金) 14:45~16:30

会場 | 多摩美術大学 アートテーク・ギャラリー 105 参加費 | 無料・申込不要

出演 | 鶴岡真弓(多摩美術大学教授・芸術人類学研究所所長、ケルト芸術文化研究家)

港千尋(多摩美術大学教授、写真家、著述家)

安藤礼二(多摩美術大学教授、文芸評論家)

### ●ディスカッション+奄美シマ唄コンサート「アイルランドから奄美群島へ」

日時 | 6月29日(金) ディスカッション: 14:45~16:15、コンサート: 16:15~17:00

会場 | 多摩美術大学 アートテーク・ギャラリー 105 参加費 | 無料・申込不要

出演 | 齊藤五十二(書家、東華書院会長、線刻画拓本採取・所蔵者)

鎌田東二(上智大学グリーンケア研究所特任教授)

ピーター・マクミラン(翻訳家)

鶴岡真弓(多摩美術大学教授・芸術人類学研究所所長、ケルト芸術文化研究家)

渡辺真也(本展キュレーター、映画監督)

朝崎郁恵(奄美シマ唄唄者、NHK『新日本風土記』テーマ曲作詞・唄)

## 展覧会概要

展覧会名	はじまりの線刻画 ―アイルランド・スカンジナビアから奄美群島へ―
会期	2018年6月16日(土)～6月30日(土)
開館時間	10:00～18:00
休館日	日曜日(6月17日、6月24日)
観覧料	無料
会場	多摩美術大学 八王子キャンパス アートテーク・ギャラリー 102～105
主催	多摩美術大学 芸術人類学研究所(所長:鶴岡真弓)
共催	上智大学グリーンケア研究所・身心変容技法研究会(代表:鎌田東二)
キュレーター	渡辺真也
後援	アイルランド大使館、カフェ・バッハ
協力	齊藤五十二、本阿弥清、一般財団法人 松澤有プサイの部屋、鹿児島県徳之島天城町教育委員会、Live Forever Foundation、株式会社ゼロユニット
お問い合わせ	042-679-5697(多摩美術大学 芸術人類学研究所)

### アクセス

- JR 横浜線・京王相模原線橋本駅北口から神奈川中央交通バス「多摩美術大学行」で約8分
- JR 八王子駅南口から京王バス「多摩美術大学行」で約20分



※アクセス情報 <http://www.tamabi.ac.jp/access/> ※大学内に一般用の駐車場はございません。

### 報道関係のお問い合わせ

多摩美術大学 芸術人類学研究所 (IAA) 〒192-0394 東京都八王子市鎌水 2-1723  
TEL: 042-679-5697 (平日 10:00～18:00) FAX: 042-679-5698 Email: [iaa\\_info@tamabi.ac.jp](mailto:iaa_info@tamabi.ac.jp)  
URL: <http://www.tamabi.ac.jp/iaa/>